

2015-11-27

会 議 錄

会議主管部署【館町団地】南バイパス道路対策委員会

件名 (南道路)第⑯回協議会

作成 南道路対策委員会(以下「対策(委)」) 宮崎(11/19)、承認 対策(委)(11/19)

官側確認 相国道・調査課:(修正: 11/27)、(市・都市計画部)交通企画課:(11/27)

開催日時 11月18日(水) 15:00~16:40

開催場所 (館町団地)自治会会館 ホール

(資料) ①第⑯回協議会「質問・要望事項」<9/28 団地提出>

②第⑯回協議会「事前調整会議」メモ

【議 事】

出席者の各代表挨拶後、議事に入る。…司会・進行:唐沢委員

(事前に提出した「質問要望事項」に基づき、官側から下記主要事項の回答を得た。)

記

◆ (質問) 3工区事業のうち、「館第一トンネル工事*の着手に関わる進捗状況

(* :設計・工事込の発注形式)

(回答) (国交省)関東地方整備局のHPから検索可能である。

⇒「入札情報サービス」→「入札公告等」

具体的には、8/6 公告、9/4 期限、2016 3/3 開札日、契約 3/末の予定。

◆ (質問) 紹介した研究論文「山間地における大気拡散モデルによる現況再現性の比較検証」の調査結果と、その見解は。

(回答) 調査の結果、論文の趣旨・意義(差分法)は理解するが、環境影響評価の技術手法として採用の段階に至っていないので、国として、予測式はフルーム方式を採用する。差分法は考えていない。

環境影響評価も、平成7年に評価を行った時点から新たな知見を踏まえて技術手法も変わって来ているので、付帯設備の詳細設計には、その時の

最新の技術手法に基づき予測評価を行う。

(要望) 今後約束頂いている「(付帯設備詳細設計前の)環境予測詳細調査」時に、当該地区は丘陵・山間地なので、差分法に準ずる精度の高い詳細予測調査を切望する。

◆ (質問) (市)「館清掃工場」と(国)「南道路」との『大気の複合汚染』問題

(回答) ①「資源循環部」の見解では、基準が異なるので、それぞれのアセスで評価する事に成る。
②「環境アセスメント協会」に確認したが、複合汚染評価の事例は無い。

(要望) (市)「館清掃工場」の NO₂ 排出量の算出・WHO 基準との比較を行い、住民の健康影響度を事前予測する為の研究・調査・調整をして欲しい。

◆ (要望) (付帯設備)【詳細設計反映に向けた(団地内)環境負荷低減対策】

質問① (団地内)環境負荷予測調査、データ取得後の協議、(付帯設備)詳細設計(供用間近)の時期を可能な限り具体的に示して下さい。

(回答) H26 年に実施した南道路の再評価では、供用時期が H32 年度の予定と成っているが、これは何の問題も無く進んだ場合であり、現実的には難しい。現段階で考えられるのは、「館第一トンネル工事」の完成時期が H31 年(予定)であるので、その後に工事を行う付帯設備に関しては、その前(H30)に実施する事に成ろう。

又調査予測結果を基に協議する時間確保にも留意する。

質問② 「最新の知見」⇒最新の見分、調査、研究に沿ったもの…と理解するが。詳細設計は、過去に実施された環境影響評価とは異なり、最新の知見に基づく設計)を採用すると説明されている。

(回答) H8 年の環境影響評価時点から最新の知見を踏まえて環境影響評価の技術手法が改訂されているが、現時点では、参考手法がプルーム方式と成っていることから、今後、行う付帯設備の詳細設計にもプルーム式により評価、検証する予定。

質問③ 「事後確認(検証)*と「手続」

(国の事業)事業者が出来ないのであれば、受け皿は地方自治体と成る。団地から要望書を準備するが、予め、市内部で「事後確認(検証)」実施を

徹底し、手続・実施要領等を団地と協議して欲しい。

(回答) 要望書を受けて、市の中では「一般的な環境負荷苦情」として環境部が対応する事に成ると考える。

(要望) 「事後確認(検証)」という特別なケースなので、市の中で格段の配慮の上実施される様、(都市計画部)交通企画課→環境部へ事前調整・橋渡しを徹底して欲しい。

質問④ 付帯設備:【本線部】遮音壁(完全蓋掛け構造)

(団地内)環境負荷予測調査の結果、環境基準を超えた場合、即、その反映・対策実施は事業者の責務と考える。

【側道部】遮音壁(①光触媒②ACF フェンス)

アセス承認にあたり、(八王子)市長がコメントを添えており、工事に“その意を反映すべき”ではないのか。

(回答) いずれも環境基準を守れる構造にする。

質問⑤ 常時観測装置設置

開通後の(環境)常時観測は何処に成るのですか。見解を伺いたい。

(回答) 道路供用(完成)後の「事後検証」を以て、この事業は完結する。従って、その必要性は認められない。

質問⑥ 医療センターへの歩道の整備

(回答) 道路上に上がる階段、スロープ等の配慮は行う。

—以下余白—